

2023年9月期（第23期）
第3四半期決算
および会社説明資料

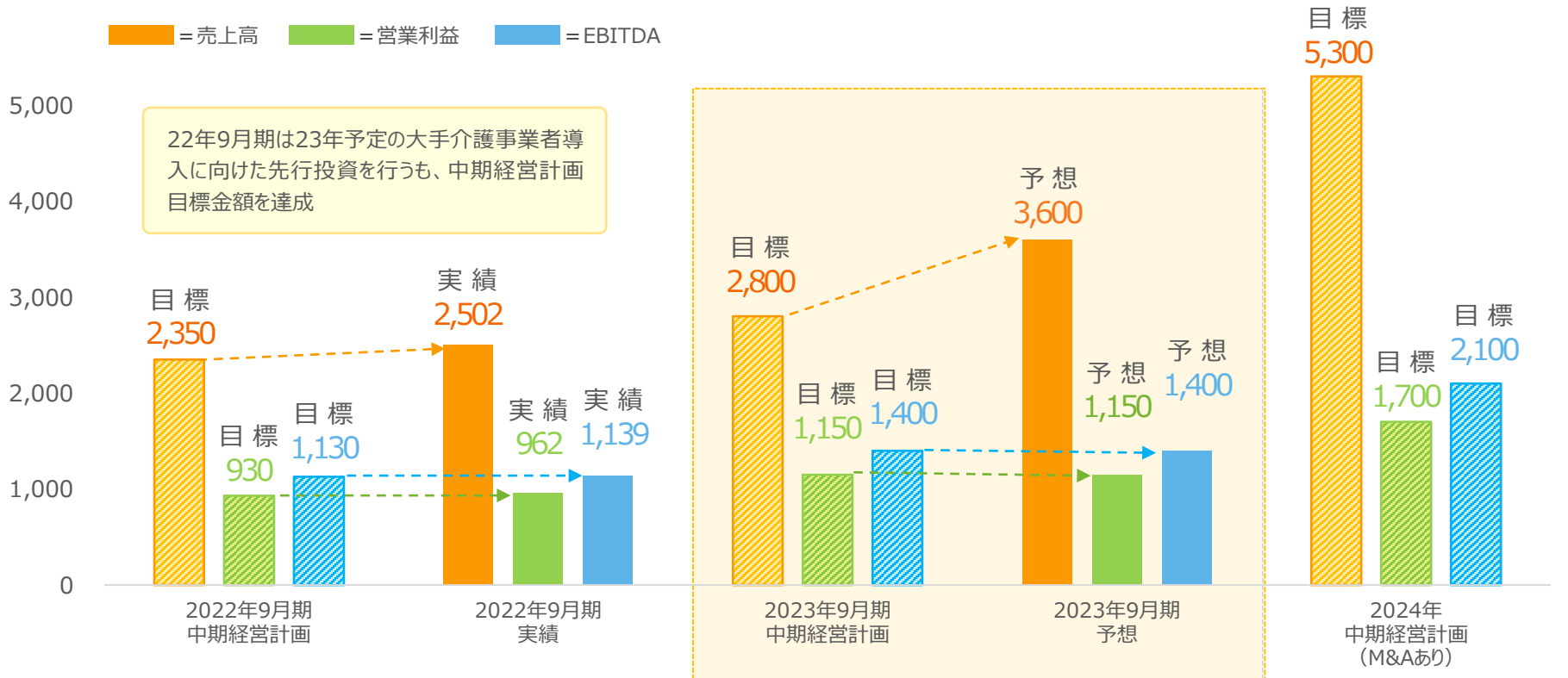
2023年8月8日 証券コード：3939

株式会社カナミックネットワーク

1. 業績概要



1-1. 中期経営計画と進捗状況

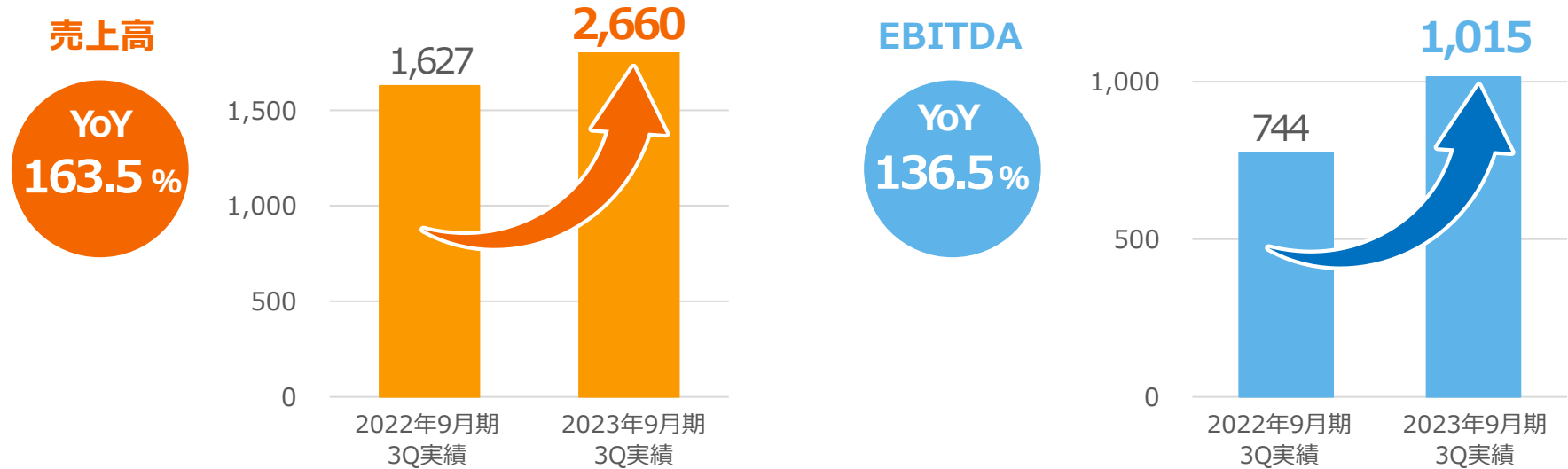


	2022 (前期)		2023 (当期)		2024
	2022年9月期 中計目標金額	2022年9月期 実績金額	2023年9月期 中計目標金額	2023年9月期 予想金額	2024年9月期 中計目標金額 (M&Aあり)
売上高	2,350	2,502	2,800	3,600	5,300
営業利益	930	962	1,150	1,150	1,700
EBITDA	1,130	1,139	1,400	1,400	2,100

※2023年9月期は、アーバンフィットの成長投資を行うため、売上高は増加するも利益予想は据え置き。
 ※EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。
 (単位：百万円)

1-2.2023年9月期 第3四半期 実績

23年9月期第3四半期は前年同期比で大幅な増収増益を達成

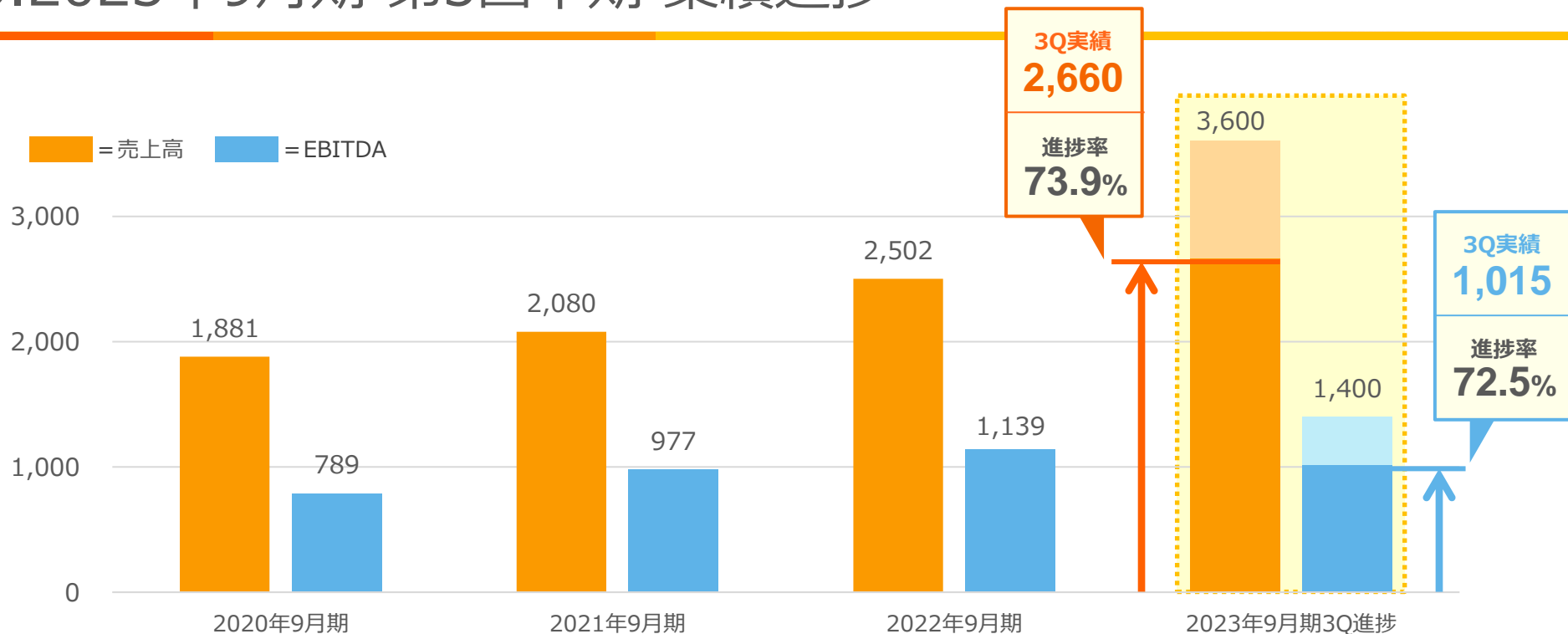


	前年同期	2023年9月期 第3四半期			差異	
	実績金額	予想金額	実績金額	構成比 (%)	前年比 (%)	予想比 (%)
売上高	1,627	-	2,660	100.0	163.5	-
EBITDA	744	-	1,015	38.2	136.5	-
営業利益	624	-	805	30.3	129.0	-
経常利益	624	-	814	30.6	130.3	-
当期純利益	420	-	553	20.8	131.7	-
1株当たり当期純利益		8.86	11.66			

(単位：百万円)

※EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。

1-3.2023年9月期 第3四半期 業績進捗



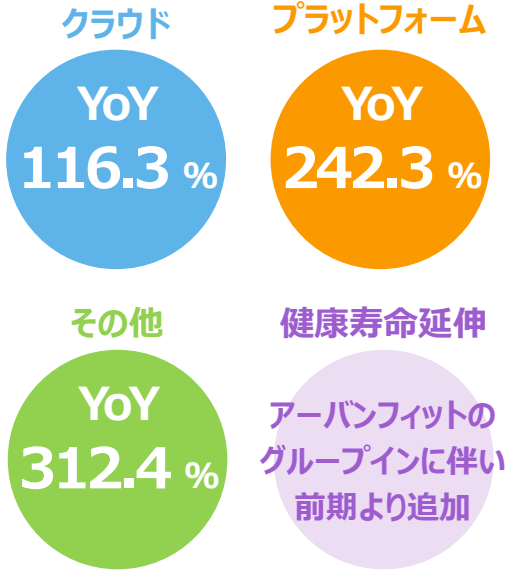
	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年9月期				
				期初予想	1Q	2Q	3Q	3Q累計
売上高	1,881	2,080	2,502	3,600	797	939	923	2,660
EBITDA	789	977	1,139	1,400	304	390	320	1,015
営業利益	654	841	962	1,150	234	324	246	805
経常利益	676	829	980	1,150	237	327	248	814
当期純利益	472	579	685	800	165	240	147	553

※EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。

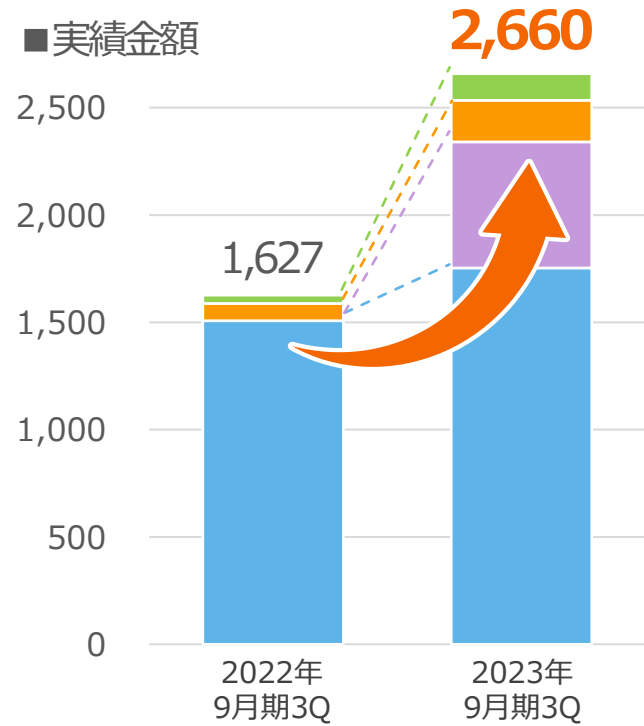
（単位：百万円）

1-4.2023年9月期 第3四半期 実績 サービス別

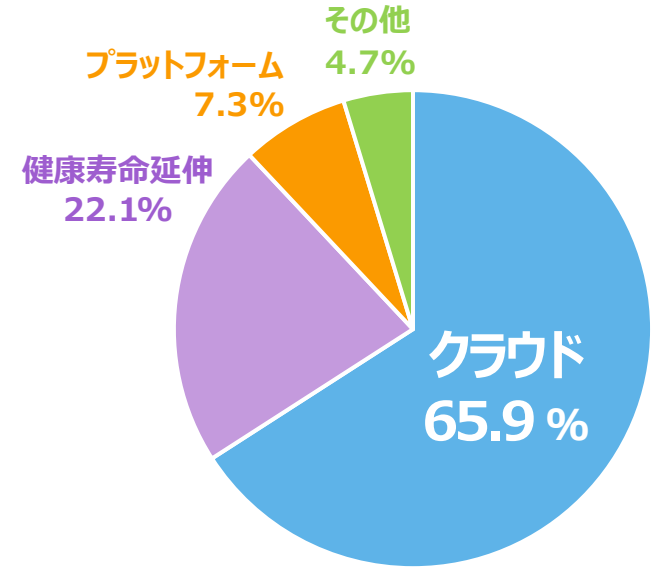
■対前年比



■実績金額



■構成比

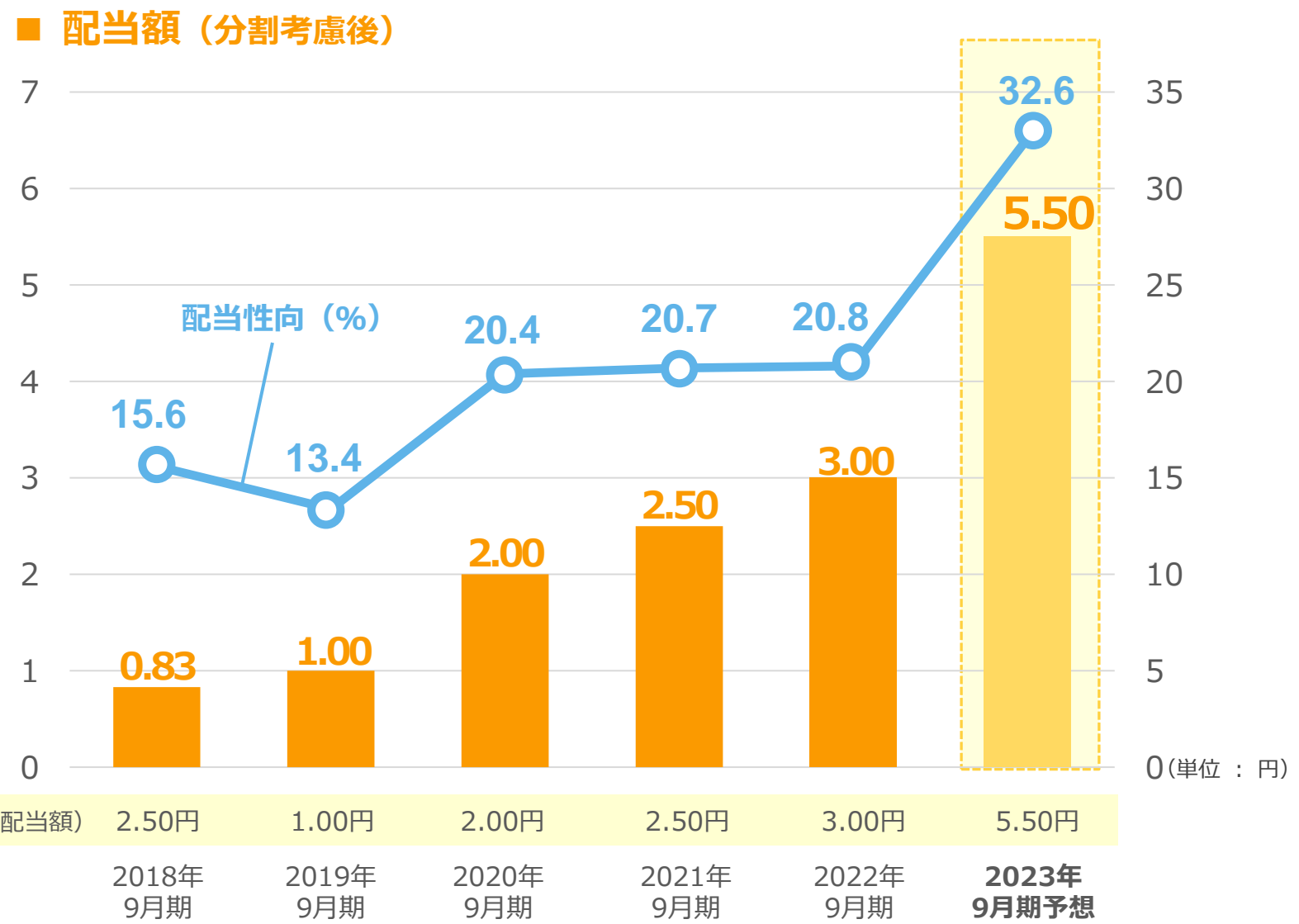


(単位：百万円)

	2022年9月期3Q 実績		2023年9月期3Q 実績		対前年差異	
	金額	構成比 (%)	実績金額	構成比 (%)	金額	前年比 (%)
クラウド	1,508	92.6	1,753	65.9	245	116.3
健康寿命延伸	—	—	588	22.1	588	—
プラットフォーム	80	4.9	194	7.3	114	242.3
その他	39	2.4	123	4.7	83	312.4
合計	1,627	100.0	2,660	100.0	1,032	163.5

1-5.株主還元

2023年7月18日発表のとおり、2023年9月期より配当性向の基準を20%以上から30%以上に変更しております。
(※詳しくは本資料P.11をご参照ください)



2.事業TOPICS

介護業界大手ニチイホールディングスが介護システムとして カナミッククラウドサービスを採用



株式会社ニチイホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森信介）が介護業務システムを刷新し業務効率化、生産性向上を実現する為に「カナミッククラウドサービス」を子会社である株式会社ニチイ学館の介護拠点での採用を決定し、導入を開始しました。

株式会社 R u b y 開発の株式取得（完全子会社化）に関する お知らせ



このたび株式を取得する株式会社Ruby開発（以下、Ruby社）は、開発効率が高くエンジニアが楽しく開発できるRuby言語によるWebシステム開発に特化したIT企業です。昨今のシステム開発およびDX（デジタルトランスフォーメーション）においては、長期間かけてのウォーターフォール型開発ではなく機能開発スピードの速いアジャイル開発を求める企業が増えており、新しいプロダクトを他社よりもスピーディに世に出していくことが求められております。

Ruby社ではこの現代のニーズに沿ったスピーディな開発を得意としており、多くの大手クライアントの仕事を受託しております。このRuby社が有するシステム開発事業は、当社のようなクラウドサービス・Webサービスを提供する企業とはシナジーが高く、当社がヘルスケア・ヘルステックを中心としたIT企業として更なる付加価値の高いサービスを提供する上で大きな推進力になると判断しております。

配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

■ 配当予想修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要課題の一つとして位置付けており、株主への長期的な利益還元を実現するため、内部留保資金を充実し、環境の変化を先取りした積極的な事業展開を行う必要があると考えております。当社は現在、成長過程にあり、内部留保資金の充実を図ることで、財務体質の強化と事業拡大のための投資等が株主に対する最大の利益還元につながるかと考えております。一方で、配当政策につきましては、株主への利益還元と内部留保充実を総合的に判断し、業績と市場動向の状況に応じて柔軟な対応を行っていく所存であります。

上記方針に基づき、従来は配当性向 20%以上を基準として決定しておりましたが、業績と昨今の市場動向の状況を踏まえ、今後は配当性向 30%以上を基準として配当額を決定する方針といたします。

当方針の変更および当期業績の推移を勘案し、2023 年 9 月期の期末配当においては、前回予想の期末配当予想額 1 株当たり“3 円50銭”を 1 株当たり“5円50銭”に増配することといたしました。

■ 修正内容

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2022 年 11 月 8 日発表)	円銭 —	円銭 0.00	円銭 —	円銭 3.50	円銭 3.50
今回修正予想				5.50	5.50
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2022 年 9 月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

カナミッククラウドサービスは、国民健康保険中央会が実施している ケアプランデータ連携のベンダ試験に合格

カナミッククラウドサービスは、国民健康保険中央会が実施しているケアプランデータ連携のベンダ試験において、以下の要件を満たしました。

ケアプランデータ連携とは国民健康保険中央会が構築するシステムで、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所との間で毎月やりとりされるケアプランの一部情報（予定・実績）をデータ連携できるようにします。ケアプラン（提供票）をデータで送受信できるようになり業務の負担軽減に繋がります。

ケアプランデータ連携システム

- **送信機能：正常動作**
- **受信機能：正常動作**

介護ソフト

- **データ取り込み機能：正常動作**

介護ソフト業界で初、カナミッククラウドサービスが
「受託業務に係る内部統制の保証報告書（SOC1®Type2 報告書）」を受領



当社は、「カナミッククラウドサービス」において、国際会計士連盟（IFAC）が定める国際保証業務基準3402（ISAE3402）および米国公認会計士協会（AICPA）が定める米国保証業務基準書第18号（SSAE18）に準拠した「Service Organization Control 1（SOC1）Type2 報告書」を監査法人より2023年5月31日に受領したことをお知らせいたします。

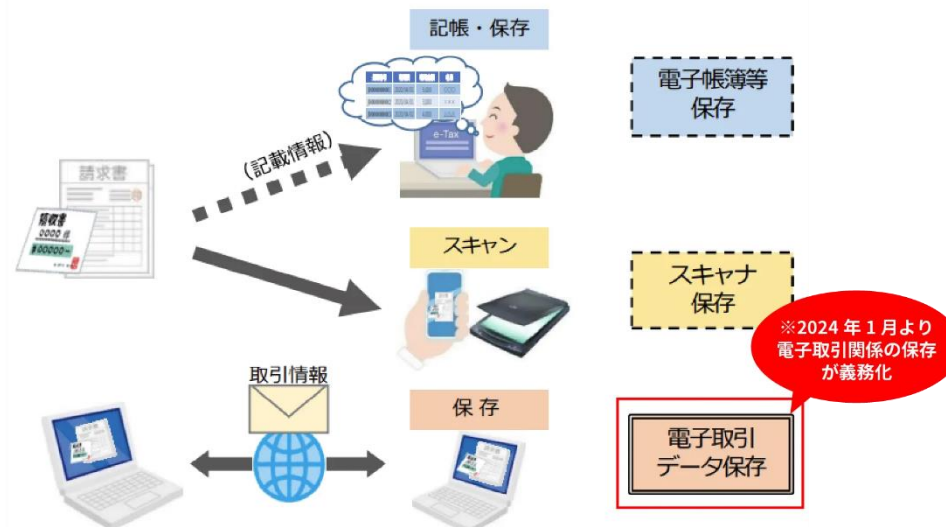
今回の受領は、介護ソフト業界では初となります。今後もカナミッククラウドサービスをユーザの皆様様にさらに安心してご利用いただくことができるよう継続した取得を目指します。

カナミッククラウドサービスの介護業務支援システムは「電子帳簿保存法」に対応いたします

当社が提供しているカナミッククラウドサービスは電子帳簿保存法に対応いたします。改正電子帳簿保存法の概要、介護事業者が今後とるべき対応についてユーザーの皆様それぞれに適切なお提案をいたします。

電子帳簿保存法とは国税関係の帳簿や書類の電子的な保存を認めた法律のことです。税務関係書類は紙での保存が原則でしたが、保存要件を満たしていれば電子的に保存が可能であることを定めています。

2022年1月の改正電子帳簿保存法により、電子的に取引した記録は電子データのまま保存することが義務づけられました。電子保存の義務化に関して、知識や費用などの準備期間が必要ということもあり、2023年12月末まで2年間の猶予期間（宥恕措置）が設けられています。



出典：国税庁パンフレット「電子帳簿保存法が改正されました（令和3年12月改訂）」より抜粋し一部加筆

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の 買入および消却について

当社は、4月5日開催の取締役会において、2021年8月4日に発行いたしました第三者割当による株式会社カナミックネットワーク120%ソフトコール条項付第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付）（以下「本新株予約権付社債」といい、そのうち社債のみを「本社債」といいます。）（額面金額総額20億円）について、割当先であるクレディ・スイス証券株式会社（以下、「クレディ・スイス証券」といいます。）に対し、現在クレディ・スイス証券が保有する本社債の全てを当社が買入れ請求を行い、あわせて本社債全ての消却を行うことを決議し、続いて4月11日に買入日および消却日が確定いたしました

【本社債の買入および消却日程】

買入日：2023年4月21日（完了）

消却日：2023年4月21日（完了）

【今後の見通し】

本社債買入れ及び消却による当期の連結業績に与える影響は軽微であります。今後公表すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。なお、2021年11月2日プレスリリース「カナミックビジョン2030中期経営計画（2022-2024）」記載の長期ビジョンに変更はございません。

本説明において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。